

国語（第3学年）

【教科目標】

- 1 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 言葉がもつ価値を認識し、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うとともに、読書に親しみ、言語生活を豊かなものにするよう役立てることができるようにする。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4		世界はうつくしいと	1	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	観察 ワークシート 定期考査	1 学期 期末考査 提出物
4	深まる学びへ	握手 漢字に親しもう1	3 1	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	1 学期 期末考査 提出物
		[聞く]意見を聞き、適切さを判断する 文法への扉 1 「走って」いるのは誰？	1 1	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。		
5		説得力のある構成を考えよう	3	・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	観察 ワークシート 定期考査	1 学期 期末考査 提出物
		言葉 1 相手や場に応じた言葉遣い 学びて時に之を習ふ——「論語」から	1 2	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。		
	視	作られた「物	3	・言葉がもつ価値を認識するとと	観察	1 学期

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	野を 広げ て	語」を超えて		もに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	ワークシート 定期考査	期末考査 提出物
6		思考のレッスン 具体化・抽象化	1	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	1 学期 期末考査 提出物
		論理の展開を意識して書こう	4	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。		
		漢字 1 熟語の読み方	1	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。		
	言葉と ともに	俳句の可能性	4	・表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫することができる。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	1 学期 期末考査 提出物
		言葉の釣り糸を垂らす	2	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。		
		語彙を豊かに	1	・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。		
7	情報 × S D G s	実用的な文章を読もう／ 報道文を比較して読もう 情報整理のレッスン 情報の信頼性	3 1	・実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	観察 ワークシート 定期考査	2 学期 中間考査 提出物
	いつも 本は そば	読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	1 1	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	観察 ワークシート 定期考査	2 学期 中間考査 提出物

月	単 元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	に					
9	状 況 の 中 で	挨拶——原爆の 写真によせて 故郷 [推敲] 論理の展 開を整える 言葉 3 慣用句・ ことわざ・故事 成語	2 5 2 1	・詩を読み、批評したり、考えた ことなどを伝え合ったりする。 ・小説を読み、批評したり、考えた ことなどを伝え合ったり する。 関心のある事柄について批評する など、自分の考えを書く。 ・言葉がもつ価値を認識するとと もに、読書を通して自己を向上さ せ、我が国の言語文化に関わり、 思いや考えを伝え合おうとする。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	2 学期 中間考査 提出物
10		聞き上手になろ う 漢字 2 漢字の造 語力	1 1	・提案や主張など自分の考えを話 したり、それらを聞いて質問した り評価などを述べたりする。 ・学年別漢字配当表に示されてい る漢字について、文や文章の中で 使い慣れることができる。	観察 ワークシート 定期考査	2 学期 期末考査 提出物
	自 ら の 考 え を	複数の意見を読 んで、考えよう 考えを効果的に 伝えよう 漢字に親しもう 3 聴きひたる 初 恋	3 5 1 1	・論説の文章を比較して読み、理 解したことや考えたことについて 討論したり文章にまとめたりす る。 ・関心のある事柄について批評す るなど、自分の考えを書く。 ・単語の類別について理解すると ともに、単語の活用、助詞や助動 詞などの働き、文の成分の順序や 照応について理解することができる。 ・理解したり表現したりするため に必要な語句の量を増し、語感を 磨き語彙を豊かにすることができる。	観察 ワークシート 定期考査	2 学期 期末考査 提出物
11	い に し え の 心	和歌の世界 君待つと——万 葉・古今・新古 今	1 2	・歴史的背景などに注意して古典 を読むことを通して、その世界に 親しむことができる。 ・和歌を読み、批評したり、考え たことなどを伝え合ったりする。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	2 学期 期末考査 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	を受け 継ぐ	夏草——「おく のほそ道」から つながる古典／ 古典名作選	3 1	・ 古典の文章を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ・ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。		
12	価値を 生み出す	それでも、言葉を 漢字3 漢字のまとめ 〔話し合い（進行）〕 合意形成に向けて話し合おう いつも本はそばに	4 1 1 4 1	・ 論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 ・ 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。 ・ 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。 ・ 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。 ・ ノンフィクションを読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。	観察 ワークシート 定期考査	3学期学年末考査 提出物
1	未来へ 向かって	温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで	2 2 1 1	・ 随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ・ 随筆を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 ・ 随筆を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ・ 詩を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。	観察 ノート記述 ワークシート 定期考査	3学期学年末考査 提出物
2		初日 漢字に親しもう5	1 1	・ 詩歌を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	観察 ワークシート 定期考査	3学期学年末考査 提出物
3	学びを 深める	国語の力試し	3	・ 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。	観察 ワークシート	提出物

月	単 元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
合計時数【105】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）	
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	ワークシート 漢字テスト 定期考査
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	ワークシート 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言葉を適切に使用している。	活動の観察 ファイル ノート

社会 I (第3学年)

【教科目標】

広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦 大正デモクラシー	8	・ 第一次世界大戦の背景と影響を日本の動きに関わらせて理解する。 ・ 大正時代に国民の政治的自覚が高まったことを理解する。	授業観察 ワーク ワークシート 単元の振り返り 定期考査	授業 提出物 Ⅰ学期期末考査
5		恐慌から戦争へ 第二次世界大戦と日本の敗戦	12	・ 世界恐慌から第二次世界大戦までの経過を日本国内の動きとともに捉える。 ・ 第二次世界大戦の経過とその大戦がもたらした惨禍を理解し、国際平和の実現の必要性を捉える。	授業観察 ワーク ワークシート 単元の振り返り 定期考査	授業 提出物 Ⅰ学期期末考査
6	現代の日本と世界	日本の民主化と冷戦 世界の多極化と日本	12	・ 冷戦の開始の中で新しい日本建設への動きを理解する。 ・ 世界の多極化をとらえるとともに、日本の高度経済成長の様子を理解する。	授業観察 ワーク 定期考査 ワークシート 単元の振り返り	授業 提出物 Ⅰ学期期末考査
7	世界	冷戦の終結とこれからの日本	8	・ 冷戦終結の世界の動きとこれからの課題を捉える。	授業観察 ワーク ワークシート 単元の振り返り 定期考査	授業 提出物 2学期中間考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
9	現代の民主政治と社会	現代の民主政治	1 1	・ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	授業観察 ワーク 定期考査 ワークシート 単元の振り返り	授業 提出物 2学期中間 考査
10		国の政治の仕組み 地方自治と私たち	1 1	・ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	授業観察 ワーク 定期考査 ワークシート 単元の振り返り	授業 提出物 2学期期末 考査
11 12	私たちの暮らしと経済	消費生活と経済 生産と労働 市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	11 8	・ 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。 ・ 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとさせる。	授業観察 ワーク ワークシート 単元の振り返り 定期考査	授業 提出物 2学期期末 考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
1 2	地球社会と私たち	国際社会の仕組み さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本	11 9	・ 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	授業観察 定期考査 ワーク ワークシート 単元の振り返り	授業 提出物 3学期学年 末考査
3	よりよい社会を目指して		4	・ 社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する。 ・ 私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	授業観察 ワーク ワークシート 単元の振り返り	授業 提出物
合計時数【105】 歴史 40 公民 65 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、小テストなど
思考・判断・表現	授業観察、定期考査、ノート、レポート、ワークシートの取組など
主体的に学習に取り組む態度	授業観察、ノート、提出物・ワークシートの取組、単元の振り返りなど

社会Ⅱ（第3学年）

【教科目標】

広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4 5 6 7	現代社会と私たち	現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方	15	・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業提出物 1学期期末考査 2学期中間考査
9 10 11	個人の尊厳と日本国憲法	人権と日本国憲法 人権と共生社会	10	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現する。	授業観察 定期考査 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組	授業提出物 2学期期末考査
12 1 2 3	日本国憲法	これからの人権保障	10	・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	授業観察 ワークシート 単元振り返りシート 学習支援ソフトの取組 定期考査	授業提出物 3学期学年末考査

合計時数【35】

※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、ワークシート、小テストなど
思考・判断・表現	定期考査、まとめプリント、レポート、ワークシートの取組など
主体的に学習に取り組む態度	授業、提出物、学習支援ソフトの取組、単元別振り返りシートなど

数学（第3学年）

【教科目標】

- 1 数の平方根，多項式と二次方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- 2 数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連づけて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
- 3 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場 面
4 5	1 章 式の計算	1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用 章末	19	・ 単項式と多項式の計算，多項式どうしの計算ができる。 ・ 目的に応じて式を操作する技能を高める。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 1 学期 期末考査 など
6	2 章 平方根	1 平方根 2 根号をふくむ式 の計算 章末	18	・ 平方根の必要性を認識させる。 ・ 分数で表すことができない数である無理数の存在を意識させる。 ・ 平方根の混じった四則計算の技能を習得させる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 1 学期 期末考査 など
7 9	3 章 2 次方程式	1 2 次方程式 2 2 次方程式の利用 章末	18	・ 2 次式で表される方程式があることを知り，答を求める方法を考察させる。 ・ 具体的な場面で 2 次方程式を利用して問題を解決できる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2 学期 中間考査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場 面
10	4 章 関数 $y=ax^2$	1 関数 $y=ax^2$ 2 関数の利用 章末	16	表、式、グラフを相互に関連づけながら変化と対応をとらえさせる。 - 関数の概念をさらに深めさせる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2 学期 期末考査 など
	5 章 相似	1 相似な図形 2 平行線と線分の比 3 相似の利用 章末	22	- 相似の性質を利用して長さや角度を求められる。 - 相似の概念を空間図形にも拡張し、それをもとに立体の辺の長さ、表面積や体積を考察させる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2 学期 期末考査 など
12	6 章 円	1 円 章末	11	- 円周角と中心角の関係を見いだして理解し、それを用いて考察することができる。 - 円周角の定理を理解し、具体的な場面で活用することができる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査 など
	7 章 三平方の 定理	1 三平方の定理 2 三平方の定理の利用 章末	16	- 三平方の定理を知り、直角三角形の辺の長さを求められる。 - 空間図形でも三平方の定理を活用することができる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査 など
2	8 章 標本調査	1 母集団と標本 章末	9	- 全数調査と標本調査の使い分けや偏りのない標本の選び方を理解させる。 - 適切なデータの扱い方と処理方法の初歩を身につけさせる。	課題への取組 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3 学期学 年末考査 など
		3 年間の復習 上級学校への接続	8	- 総合問題演習を通じて3年間の学習内容を復習させる。 - 上級学校の学習内容に触れさせる。	課題への取組 提出物	授業 提出物 など
3						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査，小テスト，提出物
思考・判断・表現	定期考査，小テスト，提出物
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子，提出物、定期考査への取組

理科Ⅰ（第3学年）

【教科目標】

自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てると共に自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を身に付ける。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	単元Ⅰ 化学変化とイオン 28	第1章 水溶液とイオン	8	・ 水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子のなり立ちに関係することを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・ 水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)	授業の取組 実験・観察 授業の態度 提出物 ノート チェック ワーク チェック 定期考査、 小テスト	授業 観察・実験 提出物 Ⅰ学期期末 考査
5		第2章	9	・ 酸とアルカリの性質を調べる実験を通して、酸とアル		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
6		酸，アルカリと イオン		カリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。また，中和反応の実験を通して，酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。あわせて，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。（知識・技能） ・ 化学変化について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また，探究の過程をふり返る。（思考・判断・表現） ・ 水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度）		
		第3章 化学変化と電池	11	・ 金属を電解質水溶液に入れる実験を通して，金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また，電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して，電池の基本的なしくみを理解するとともに，化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。あわせて，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。（知識・技能）		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				- 化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) - 化学変化と電池に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
	単元2 生命の連続性 26	第1章 生物の成長と生殖	10	- 生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) - 生物の成長とふえ方について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) - 生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることが	授業の取組 実験・観察 授業の態度 提出物 ノート チェック ワーク チェック 定期考査 小テスト	授業 観察・実験 提出物 2学期中間 考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				できるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
7		第2章 遺伝の規則性と 遺伝子	9	・ 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 遺伝の規則性と遺伝子について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、遺伝の規則性と遺伝子についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・ 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。 (主体的に学習に取り組む態度)		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
9		第3章 生物の多様性と進化	7	・ 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 生物の種類の多様性と進化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) ・ 生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)		
10	単元3	第1章 物体の運動	10	・ 物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を行い、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にともなって物体の速さが変わること、および、力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解するとともに、それらの観	授業の取組 実験・観察 発表の態度 提出物 ノート チェック ワーク チェック 定期考査	授業 観察・実験 提出物 2学期期末 考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	運動とエネルギー			察、実験の技能を身に付ける。(知識・技能) - 物体の運動について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) - 物体の運動に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
	31	第2章 力のはたらき方	8	- 二つ以上の力がはたらく状況の観察、実験を通して、合力や分力の規則性や、物体にはたらく力と物体の運動の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) - 力のはたらきと物体の運動の関係性について問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきと物体の運動の規則性を見いだして表現する。(思考・判断・表現) - 力のはたらきと物体の運動の規則性に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		第3章 エネルギーと仕事	13	・ 仕事に関する観察、実験を行い、仕事と仕事率について理解する。また、力学的エネルギーに関する観察、実験を行い、物体のもつ力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事で測れること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることなどを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。(思考・判断・表現) ・ エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
1 2	単元5 地球と私たち	第1章 自然のなかの生物	6	・ 日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断	授業の取組 実験・観察 授業の態度 提出物 ノート チェック ワーク チェック 定期考査 小テスト	授業 観察・実験 提出物 3学期学年 末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	の未来のために 29			する。(思考・判断・表現) ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
1		第2章 自然環境の調査と保全	6	・日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)		
2		第3章 科学技術と人間	7	・人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				では、さまざまな物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識する。さらに、科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。(知識・技能) ・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)		
3		地域とつながる	4	・日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身に付ける。(知識・技能)	授業の取組 実験・観察 授業の態度 提出物 ノート チェック ワーク	授業 観察・実験 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				・ 地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・ 環境に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)	チェック 小テスト	
		終章 持続可能な社会をつくるために	6	・ 日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をあたえていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識し、そのための科学的調査の技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 多様な情報からエネルギーや資源、自然環境についての問題を見だし、調査や文献などの科学的知見を分析し、経済活動と環境保全のあり方について、科学的に考察して判断する。(思考・判断・表現) ・ 義務教育段階の理科をふり返り、科学の有効性を判断し、環境に関する科学的調査を計画し、持続可能な社会の実現に向けてねばり強く討論する。(主体的に学習に取り組む態度)		

月	単 元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
合計時数【114】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観 点	評価方法（評価資料）
知識・技能	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査、提出物の内容
思考・判断・表現	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査、提出物の内容

理科2（第3学年）

【教科目標】

自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てると共に自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を身に付ける。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	単元4 地球と宇宙 26	プロローグ 星空をながめよう	2	- 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や太陽の表面のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身に付ける。 (知識・技能) - 月や太陽、恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) - 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)	授業の取組 実験・観察 発表の態度 理科ノート 提出物 ノート チェック 学習プリント チェック 定期考査 その他のテスト	授業 観察・実験 提出物 Ⅰ学期期末 考査
5		第Ⅰ章 地球の運動と天体の動き	10	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
6				概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身に付ける。(知識・技能) ・天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかかわり科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 (主体的に学習に取り組む態度)		
7					授業の取組 実験・観察 発表の態度 理科ノート 提出物 ノート チェック 学習プリント チェック 定期考査 その他のテスト	授業 観察・実験 提出物 2学期中間 考査
9						
10		第2章 月と金星の見え方	7	・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身に付ける。(知識・技能) ・月や金星の運動と見え方について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や	授業の取組 実験・観察 発表の態度 理科ノート 提出物 ノート チェック 学習プリント チェック 定期考査 その他のテスト	授業 観察・実験 提出物 2学期期末 考査
11						

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
1 2				金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・ 月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 (主体的に学習に取り組む態度)	授業の取組 実験・観察 発表の態度 理科ノート 提出物 ノート チェック 学習プリント チェック 定期考査 その他のテスト	授業 観察・実験 提出物 3学期学年 末考査
1						
2		第3章 宇宙の広がり	7	・ 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身に付ける。(知識・技能) ・ 太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。(思考・判断・表現) ・ 太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。(主体的に学習に取り組む態度)		
3					授業の取組 実験・観察 発表の態度 理科ノート 提出物 ノート チェック 学習プリント チェック その他のテスト	授業 観察・実験 提出物

月	単 元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
合計時数【26】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査・その他のテスト、提出物の内容
思考・判断・表現	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査・その他のテスト、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	授業・実験・観察の取組、発表の態度、定期考査・その他のテスト、提出物の内容

音楽（第3学年）

【教科目標】

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4 5	歌唱	花 大地讃頌	6	- 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。 - パートの役割や旋律の音の動きを理解して合唱する。 - 歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌う。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 1学期期末考査 2学期中間考査 など
6	鑑賞	モルダウ 音楽史	3	曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する。	ワークシート 観察 定期考査	
7	歌唱	課題曲、自由曲	4	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
9 10	歌唱	課題曲、自由曲	5	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 2学期期末考査 など
11	鑑賞	ポピュラー音楽 日本の音楽	4	ポピュラー音楽や日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わって鑑賞する。	ワークシート 観察 定期考査	
12	器楽	ギター 「イエスタデイ」	5	楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。	ワークシート 観察 演奏聴取 定期考査	
1	鑑賞	世界の諸民族の音楽	1	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう。	ワークシート 観察 定期考査	提出物 授業 など
2	創作	DTM	3	構成を工夫して、曲をつくる。	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
3	歌唱	卒業をテーマにした合唱	4	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。	ワークシート 演奏聴取	

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
合計時数【35】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、演奏聴取（実技テスト）、観察、作品提出
思考・判断・表現	ワークシート、定期考査、観察、作品提出
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、観察

美術（第3学年）

【教科目標】

- 1 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- 2 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- 3 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	鑑賞	オリエンテーション 仏像に宿る心 鑑賞	3	・ 日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、作品のよさや美しさを味わう。	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書や資料の活用
5 6 7	デザイン	非行防止啓発ポスター	10	・ イメージを効果的に伝えるために、文字の配置や色、イラストレーションなどを組み合わせて効果的に表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 制作の様子 教科書や資料の活用 1学期期末考査
9 10	絵画	EYES～目で見 る表情～ 絵画	9	・ 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出しながら表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 制作の様子 教科書や資料の活用 2学期期末考査
11 12 1	鑑賞	どこまで修復すべきか 鑑賞	2	・ 諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める。	授業中の観察 ワークシート	授業 班活動の様子 教科書や資料の活用
2 3	工芸	ボックスアート で自画像 立体	9	・ 主題を基に、想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現をする。	授業中の観察 ワークシート 作品	授業 教科書や資料の活用

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	鑑賞	あの日を忘れない 鑑賞	2	・ 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わう。	授業中の観察 ワークシート	授業 班活動の様子 教科書や資料の活用
合計時数【35】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、定期考査
思考・判断・表現	アイディアスケッチ、プリント、作品、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、遅刻、忘れ物、提出物、定期考査

保健体育（第3学年）

【教科目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1 各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- 2 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 3 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【学習計画】

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	オリエンテーション	1	・授業の進め方、評価の仕方等を確認し、理解する。	授業観察 学習カード ワークシート 実技テスト 定期考査 等	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 1学期期末考査
5	体づくり運動	4	・体を動かす楽しさや心地良さを味わう。		
	陸上競技(リレー・短距離走)	10	・スピードにのった滑らかなバトンパスができるようにする。		
6	体育理論(文化としてのスポーツの意義)	2	・文化としてのスポーツの意義について理解する。		
	保健(健康と環境)	2	・個人の健康と環境について学習活動を通して理解を深める。		
7	スポーツテスト	4	・体力テストの行い方、名称、関連する体力などを理解する。		
	水泳	11	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、効率的に泳ぐことができるようにする。		
9					
10	球技(バレーボール)	12	・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	授業観察 学習カード ワークシート 実技テスト 定期考査 等	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 2学期期末考査
	保健(健康と環境)	6	・個人の健康と環境について学習活動を通して理解を深める。		
	保健	6			

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
11	(健康な生活と病気 の予防)	12	・ 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な知識を身に付ける。		
12	球技(サッカー)		・ 基本的な技能を身に付け、攻防を展開できるようにする。		
	球技(ハンドボール)	12	・ 仲間と連携し、空間を生かした攻防を展開できるようにする。		
1			・ 基本的な技能を身に付け、攻防を展開できるようにする。		
2	球技(バドミントン)	8	・ 相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。	授業観察 学習カード ワークシート	授業内・授業 後の振り返り 提出物の提出
3	球技(卓球等)	10	・ ルールの理解、基本的技能の習得とともに勝敗を競う楽しさを味わう。	実技テスト 定期考査 等	3学期学年末 考査
	保健まとめ	2	・ 学習活動を通して理解を深める。基本的な知識を身に付ける。		
	体づくり運動	2	・ 体を動かす楽しさや心地良さを味わう。		
合計時数【105】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。					

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、実技テスト、提出物の内容（学習カード等）等
思考・判断・表現	提出物の内容（学習カード等）、授業観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業観察（授業への取り組み）、提出物の内容（学習カード等）等

技術・家庭（技術分野／第3学年）

【教科目標】

<ものづくり>

ものづくりの実習を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を習得し、それらを生活に活用する態度を育てる。

<情報>

コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それを用いてデジタル作品が制作できる力を育てる。また、コンピュータを使い計測・制御が行える力を育てる。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4 5 6 7 9 10	材料と加工に関する技術	金属材料の特徴や種類 金属製品の製作 けがき作業 切断 穴あけ やすりがけ 仕上げ 製図	1 7	・ 金属の種類や特徴について理解し、どのように使われているかを知る。 ・ 金属の特性や熱処理について理解する。 ・ 設計図を見て、どのような加工をするか、 ・ 製図を通して理解する。 ・ 金属材料はけがをしやすいため安全に十分配慮した作業ができる。 ・ 各作業で道具の正しい使い方を理解する。 ・ 安全にけががないように指導する。	授業中の観察 提出物 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 教科書の活用 1学期期末考査
11 12 1	生物育成の技術	生活や社会を支える生物育成の技術	3	・ 教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生活との関わりを理解する	授業中の観察 ワークシート 定期考査 休業中の課題 振り返り	授業 作業の様子 教科書の活用 3学期学年末考査
2 3	情報に関する技術	プログラミングと計測・制御 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	7	・ 基本的なプログラミングを理解する。 ・ 時計とコンピュータを使いプログラミングし、計測・制御について理解する。	授業中の観察 提出物 振り返り	授業 グループ活動 作業の様子 教科書の活用

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
合計時数【18】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振り返り

技術・家庭（家庭分野／第3学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標 (各題材で身に付けてほしい力)	評価方法	評価場面
1学期	家族・家庭生活	◎幼児に対して理解を深めよう	6	・幼児の体の発達について理解し、自身にできる関わり方の工夫を考える。	・振り返りレポート ・定期考査 ・授業中の様子	授業 提出物 調理実習 1学期期末考査 2学期期末考査
				・幼児の心の発達について理解し、自身にできる関わり方の工夫を考える。		
2学期	家族・家庭生活	◎幼児とのかかわり方を考えよう	7	・幼児の発達における「遊び」の重要性について理解し、関わり方の工夫を考える。		
				・幼児の生活が安全であることの重要性と自身の関わり方について理解し、考えを深める。		
3学期	消費・環境	◎自立した消費者を目指そう	4	・幼児の発達に不可欠である「おやつ」の調理を通して、実践的な理解を深める。	・成果物 ・ワークシート	授業 提出物 被服実習
				・幼児との「遊び」で活用できるおもちゃの製作に向けた計画を立てる。		
3学期	消費・環境	◎自立した消費者を目指そう	4	・現代社会の消費に関する課題を理解し、自身の向き合い方について考えを深める。	・ワークシート ・定期考査	授業 提出物 3学期学年末考査
				・消費者の基本的な権利と責任を理解し、持続可能な消費行動を工夫する。		
3学期	共生社会	◎共生社会について考えよう	2	・消費者被害への理解を深め、消費者としての情報モラルを身につける。	・ワークシート ・定期考査	授業 提出物 3学期学年末考査
				・ユニバーサルデザインについて理解を深め、誰もが暮らしやすい社会を目指した自身の行動の工夫を考える。		
		合計時数	18 (17.5)			

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容（評価方法）
知識・技能	・ 3年間を通じて、よりよい生活を営む上で必要な、正しい知識や技術を習得・活用できている （定期考査（1、2年時の内容も出題）、実習での作業の様子、作品の完成度） ・ 安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現することができている（作品の完成度、ワークシート記入状況）
思考力・判断力・表現力	・ 提出物（作品やレポート、ワークシートなど）に創意工夫ができている ・ 授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている（ワークシート、発言、発表） ・ 調理実習、被服実習において、作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている（発言、発表、実習への取り組み） ・ 提出物を確実に提出することができている（ワークシート記入状況）

外国語（英語／第3学年）

【教科目標】

- 1 英語の学習を通して、英語や外国の文化に対する理解を深める。
- 2 英語を使って、積極的にコミュニケーションを図る。
- 3 英語を聞くことや英語を話すことなどの基礎的な力を身に付ける。
- 4 自分のことや日常生活について、自分の町や文化などについて、社会的な問題について、内容を整理し、順序立てて伝えあうことができる。

【学習計画】

月	単元	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
4	Unit 1 School Life Around the World	The classes are taught ~. Let me show you ~. Ms. Brown told us that ~.	11	・ [R] 学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 ・ [SP] 読んだ記事について、意見を発表することができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 Ⅰ学期期末 考査 など
	Daily Life 1 ディスカッ ション	既習事項	2	・ [L] 話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 Ⅰ学期期末 考査 など
5	Unit 2 Our School Trip	現在完了形 〈完了〉 現在完了形 〈経験〉	11	・ [L] 会話から、おすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。 ・ [SI] おすすめの場所について、教え合うことができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 Ⅰ学期期末 考査 など
	Daily Life 2 留守番電話	既習事項	2	・ [L] [SI] 留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 Ⅰ学期期末 考査 など
	Unit 3 Lessons From Hiroshima	現在完了形 〈継続〉 現在完了進行形 It is ~ for us to	11	・ [R] 文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 ・ [SP] 読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 Ⅰ学期期末 考査 など
6	Active Grammar 1	現在完了形 現在完了進行形	5	・ 過去とつながりのある現在の状態を伝える ・ 言い方を整理しよう	観察 提出物 小テスト	一斉授業 ペアワーク 発表

月	単元	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
					定期考査	1学期期末 考査 など
	Let's Read 1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi	既習事項	4	・ [R] [SI] 日記から出 来事や気持ちを読み取 り、筆者について想像し たことを伝え合うことが できる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 2学期中間 考査 など
	World Tour 1 Living With Animals		3	・ [L] 絶滅危惧種の現状 やその原因について知ろ う		
7	You Can Do It! 1		3	・ [L] [SP] 「現在」と 「過去」の相違点を挙げ よう		
	Unit 4 AI Technology and Language	関係代名詞〈主 格〉 which, who, that	11	・ [R] 投稿文から、それ ぞれの意見の要点を読み 取ることができる。 ・ [W] 読んだ投稿文につ いて、感想や自分の意見 を書くことができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 2学期中間 考査 など
9	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True	既習事項	6	・ [R] [SI] 説明文の要 旨を読み取り、自分の考 えを伝え合うことができ る。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 2学期中間 考査 など
	Daily Life 3 ポスター	既習事項	2	・ [R] ポスターから、必 要な情報を読み取ること ができる。		
10	Unit 5 Plastic Waste	関係代名詞〈目 的格〉 which, that 接触節	11	・ [R] プレゼンテーショ ンから、話の流れを読み 取ることができる。 ・ [SI] 読んだプレゼン テーションについて、感 想や考えを伝え合うこと ができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 2学期期末 考査 など
	Daily Life 4	既習事項	2			

月	単元	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
11	ニュース			・ [L] [SP] ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 2学期期末考査 など
	Unit 6 The Chorus Contest	two people playing ~ T-shirts designed by ~ Tell us why you are ~.	11	・ [L] 絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 ・ [SP] 絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。		
12					観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 3学期学年末考査 など
	Active Grammar 2	後置修飾	4	・ 名詞の後ろに説明を追加する言い方を整理しよう		
	You Can Do It! 2	既習事項	4	・ [R] [SP] 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう		
	Unit 7 Tina's Speech	what to expect ~ If I could ~, I would	8	・ [L] スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・ [SP] 今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。		
	World Tour 2 How Do We Live?	既習事項	2	・ [R] 世界の現状を知ろう		
1	Let's Read 3 Changing the World	既習事項	4	・ [R] [SI] スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 3学期学年末考査 など
	Unit 8 Goodbye, Tina	I wish you weren't ~.	6	・ [R] 手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・ [W] 自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。		
	模擬トレ	既習事項	3			

月	単元	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
				・ [R] 1964 年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。	観察 提出物 小テスト 定期考査	一斉授業 ペアワーク 発表 3 学期学年 末考査 など
2	Let's Read More 1		4			
	模擬トレ		2			
3	Let's Read More 2		4	・ [R] 杉原千畝の伝記から、彼の行動と読み取ることができる。		
	Let's Read More 3		4	・ [R] 「トム・ソーヤの冒険」の 1 節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。		
合計時数【140】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）	
知識・技能	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを知識・技能を習得し、身につけ活用することができるか評価する。	観察 定期考査 単元テスト
思考・判断・表現	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝えあうことができるか評価する。	観察 定期考査 単元テスト スピーキングテスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。	観察（音読、会話活動への参加の様子、自己表現や発表） スピーキングテスト ポートフォリオ